

1. 地域防災計画の見直しについて

(2) 市民に避難行動を促すための方策について

②小中学生に対する防災教育について

【答弁】

この間、本市の小中学校で実施している防災教育については、直面する災害に対して、「自ら考え判断し、適切な行動を選択できる子ども」を育てることをねらいとしております。

とりわけ、「何よりも自らの命を守ること」、どこにいても、どのような状況でも「危険物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所」をみつけ、素早く安全な場所へ身を寄せることを大切に指導しているところでございます。

具体には、全ての学校園において、年2回以上の防災避難訓練を実施しており、特に、大地震を想定した訓練では、緊急下校訓練の実施や保護者への引渡し訓練、地域やPTAと連携した防災訓練なども実施しております。

また、学校からの要請による出前講座を通じて、小中学生に、防災についての知識や防災意識を高めるための啓発を行なっているところで、今後もさまざまな機会を活用して啓発してまいりたいと考えております。